

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 【新】薬剤師確保対策事業費 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 薬事麻薬係 電話番号：058-272-1111(内3433)

E-mail：c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,464 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,464	0	0	0	0	0	2,464	0	0
決定額	2,464	0	0	0	0	0	2,464	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

在宅医療の推進、病院での業務多忙化により、薬剤師の求人が増加しているが、薬剤師の都市部への偏在等により、県内での薬剤師不足が続いていることから、県病院薬剤師会等と連携して薬剤師確保対策を講じ、県内の薬剤師確保を推進する。

(2) 事業内容

○薬剤師確保支援体制の構築

県薬剤師会、県病院薬剤師会や行政等が連携し、薬剤師の確保に向けた調査・検討を行うための薬剤師確保支援体制を構築し、定期的にミーティングを開催

○薬剤師確保支援(県薬剤師会への委託)

薬剤師が不足する医療機関、薬局に薬剤師を誘致するため、薬学生等に対する県内病院・薬局の特徴・魅力等の効果的な情報発信や採用活動等への支援を実施

・薬学生合同インターンシップ

全国の薬学生を対象に、県内での薬剤師業務の現地研修・就業体験(病院・薬局等)を行い、県内就業の促進を図る。

・合同企業説明会

全国の薬学生等を対象に県内の病院・薬局の採用情報等を提供するオンラインセミナーを開催する。

・未就業者等対策

子育て等により離職した薬剤師や医療機関での実務経験がない有資格者等を対象に、復職に対する不安の払拭や薬剤師スキルの向上を目的とした研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

薬剤師の従事先には業態の偏在や地域の偏在があることから、偏在を解消するための改善策を講じ、地域の実情に即した医療体制を構築する必要があるため県負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	252	報償費
旅費	88	費用弁償
需用費	14	消耗品費、印刷製本費、会議費
役務費	2	通信運搬費
使用料及び賃借料	33	会場借用料
委託料	2,075	委託料
合計	2,464	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県保健医療計画（予定）
・保健医療従事者の確保・養成（薬剤師）

(2) 国・他県の状況

他県においても同様の事業を計画

(3) 後年度の財政負担

必要となる薬剤師を確保し、偏在の解消を図るため、継続して事業を実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

未就業者対策事業は、薬剤師として修行するために必要となる知識・技術を習得させるための研修や地域の多職種との連携を図る事業であり、県内の薬剤師を統括する県薬剤師会に委託して実施することが合理的である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 在県病院薬剤師会等と連携して薬剤師確保対策を講じ、県内の薬剤師確保を推進することにより、県内での薬剤師不足、薬剤師の従事先の偏在や地域の偏在を解消し、地域の医療体制の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)					終期目標 (R8)	達成率
① 病院薬剤師偏在 指標	0.69					0.74以上	
② 薬局薬剤師偏在 指標	0.91					1.0以上	

○指標を設定することができない場合の理由

各偏在指標については、令和8年度、11年度、14年度時点のものを国が算出・公表していることとしているため、終期目標のみを記載している。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

○多職種との連携による在宅医療服薬支援事業

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 3	在宅医療の推進、病院での業務多忙化により、薬剤師の求人が増加しているが、薬剤師の都市部への偏在等により、県内での薬剤師不足が続いている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】